

平成29年7月10日

各位

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社
 代表者 代表取締役社長 高田康裕
 (コード番号 6769)
 問合せ先責任者 取締役総務部長 山本武男
 (TEL 03-5217-6660)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月3日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,476	△309	△306	△307	△29.05
今回修正予想(B)	1,629	△139	△234	△231	△21.72
増減額(B-A)	152	169	72	76	
増減率(%)	10.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成28年12月期第2四半期)	1,315	△171	△478	△504	△47.80

平成29年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,453	△297	△294	△295	△27.92
今回修正予想(B)	1,610	△124	△205	△202	△19.00
増減額(B-A)	157	172	89	93	
増減率(%)	10.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成28年12月期第2四半期)	1,301	△155	△448	△474	△44.92

修正の理由

当社は2019年度を目標年次とする中期経営戦略「J-SOAR」を当期からスタートいたしました。インターフェース技術を軸足としてお客様の課題を解決し、当社グループ独自の日本発ソリューションを世界市場に提供することにより、ビジネスの飛躍を目指しています。

当第2四半期連結累計期間においては、産業機器市場向け製品の出荷が計画を上回りました。主に、当社独自の高速情報伝送技術V-by-One(R)HSを搭載したG-SYNC(TM)技術のゲーミングモニター向けの製品や国内のアミューズメント市場及びOA市場向けの製品出荷が計画を上回って推移し、売上高が当初見込みを上回る見込みとなりました。

当期は中期経営戦略「J-SOAR」の初年度であり、飛躍起動への復帰に向けた基幹となる成長エンジンの確立のため、研究開発投資を集中投入することにしております。当第2四半期連結累計期間においても予定通り順調に開発活動を実施いたしており、より積極的なコスト削減および一部案件での費用計上が第3四半期にずれ込んだこと等により営業損失は当初見込みより削減される見込みとなりました。また、為替が円高に進んだことにより、主に外貨建ての現預金の評価差損として為替差損を計上する見込みとなりましたが、連結経常損失・四半期純損失につきましても当初見込みより削減できる見込みとなりました。

なお、現時点において通期の業績見込みにつきましては、平成29年2月3日に公表いたしました業績見込みからの変更はございません。今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。その他の本文中における各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。

※本資料の予想は、本資料発表日現在において入手している情報に基づき作成しております。

※実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上